



漆の魅力を感じながら漆皿の絵付けを体験をする参加者

# 話題

## ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。  
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

## 漆器文化にふれる体験

漆DAYSいわて2018

安比塗漆器工房は11月23、24日の両日、アイーナで開かれた漆DAYSいわて2018に出展し、漆器の魅力を伝えました。

展示販売では、お椀やスプーンなどが並べられ、訪れた来場者は手に取り会話を弾ませていました。

また、漆皿の絵付け体験の参加者は、和菓子が盛られた姿をイメージしながら、漆皿に赤、青、黄色の3色の漆で思い思いの絵柄を描き、自分好みの作品を作って楽しみながら、漆を学んでいました。



漆器を手に取りながら品質の良さ確かめる来場者



飾られたイルミネーションの光を楽しむ子どもたち

## 冬の夜を明るく照らす

サラダファームイルミネーション点灯式

サラダファームのイルミネーション点灯式は11月22日、たまご館前で開かれ、田頭と平笠の学童保育クラブの児童約40人が参加しました。

カウントダウンとともに約6万個のLEDが点灯。ハートマークやウサギ、池を泳ぐ白鳥などが浮かび上がると、子どもたちの歓声も上がりました。

点灯は1月28日(月)までの毎週金曜日から月曜日までと祝日(大みそかと元日除く)の午後5時から8時まで。天候により変更となる場合があります。



意見書を田村正彦市長へ手渡す市農業委員会の山本範夫会長(右)(11月7日、市役所)



寸劇などを通して認知症高齢者を自宅へ導く声掛け方法を学びました(10月27日、田山スポーツ交流館)



市婦人消防協力隊らが各戸にチラシを配り火災予防を呼び掛けました(11月11日、市内火災予防広報)



感慨深げに褒状を受ける遠藤一三さん、京子さん夫妻

## 苦楽を共に60年目の記念

### ダイヤモンド婚を祝う会

市社会福祉協議会は10月30日、ダイヤモンド婚を祝う会をいこいの村岩手で開催し、結婚生活60周年を迎えた市内の夫婦に褒状を贈り祝福しました。

祝う会には、対象32組中14組の夫婦が出席。市内の芸能団体などによる歌や踊りが披露され、出席者は共に歩んできた60年の節目を喜び合いました。

伊藤功さん、和子さん夫妻は「共稼ぎが長かったので、お互いに気遣い合いながらさまざまな困難を乗り越えてきました」と、結婚生活を振り返りました。

## 地域に感謝とおもてなし

### 寺田小「地域ふれあい収穫祭」

寺田小学校は11月10日、地域ふれあい収穫祭を開催し、児童らが田植えや稲刈り、脱穀まで手掛けた餅米で、地域の人たちと餅をついて収穫を喜びました。

同校の児童(61人)は、日頃お世話になった地域の人たちに感謝状を贈呈。参加者約180人が餅や豚汁などを食べながら、世代を越えて交流を深めました。

児童会長の大和悠利君は「お世話になった皆さんにおもてなしをと思い頑張りました。これからも地域に愛される寺田っ子を目指します」と力を込めました。



全校児童が地域の人たちへ感謝の歌声を響かせました



男女の役割分担で復活した祭りなどを写真とともに紹介

## 男女支え合い地域活性へ

### 第12回男女共同参画フォーラム

市男女共同参画フォーラムは11月17日、西根地区市民センターで開かれ、男女が共に生きやすい社会づくりについて、市民ら約100人が理解を深めました。

講演では、唄っこ踊りっこお楽しみ一座代表の清水田ノブさんが「地域をにぎわせるために始めた。相手が笑顔になると楽しくて仕方ながんす」と、つらい経験や公演活動などを参加者の笑いを誘いながら紹介。パネル討論では、シニア男性の地域参加を促すための取り組みなどについて意見が交わされました。

## 作って遊んで楽しく学ぶ

### わくわく・満足・子どもフェスタ

(特非)七時雨いきいきネットワーク(工藤忠義理事長)は11月23日、西根地区市民センターで、餅つきや昔遊びが体験できる「わくわく・満足・子どもフェスタ」を初めて開きました。

市内の児童や関係者ら約150人が参加。元気いっぱいに工作や昔遊びなどにチャレンジしました。

工藤理事長は「さまざまな体験から得られる発見や何かを作り上げる喜びを楽しみながら感じてほしい」と子どもたちの成長に期待しました。



空飛ぶマグヌスコップ作りに夢中な子どもたち



フゴ袋いっぱいには落ち葉を集め、フーガのひろばを清掃

## シルバー事業を普及啓発

### 市シルバー人材センター清掃ボランティア

(公社)市シルバー人材センター(藤村松雄会長、会員174人)は10月30、31の両日、毎年10月に実施する「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせ、清掃ボランティア活動を展開しました。

31日は約20人が参加し、北森駅の窓拭きやフーガのひろばの落ち葉拾いを実施。活動に参加した同センターの遠藤和義副理事長は「活動を通じて、新しい会員の確保や高齢者の就業開拓、生きがいづくりにつながれば」と期待を込めました。

## 災害対応力の向上図る

### みちのくALERT(アラート)2018

東北6県で展開する「みちのくALERT(アラート)2018」(陸上自衛隊東北方面隊主催)に本市も参加し、11月11日に市役所で大規模災害を想定した災害対策本部運営の図上訓練を行いました。

自衛隊、市、警察、消防を合わせ40人が参加。各班が連携し、情報共有を図りながら、災害対応力強化に努めました。自衛隊の松本徹情報中隊長は「いい訓練となった。いざという時に対応できるよう、引き続き関係機関で連携を深めたい」と意識を高めました。



県災害情報システムを確認し、情報把握する関係者

## すなっぶギャラリー



11月1日で100歳を迎えられた工藤ハナさん=下町一区=これからもお元気で(11月1日、むらさき苑)



11月20日で100歳を迎えられた工藤リヤさん=石名坂=これからもお元気で(11月21日、りんどう苑)



人権尊重に関する意見発表会で「いじめ」をテーマに発表する安代中の高橋琉晟さん(11月2日、葛巻小)



八幡平温泉郷に移住し、市内内外の自然風景を描く森薫氏の水彩画を特別展示(11月3、4日、市芸術祭)



黒澤洋史社長(左)から市内全児童分の安比高原スキー場リフト券を教育長へ贈呈(11月12日、市役所)